

論文審査の要旨
Summary of Dissertation Review

博士の専攻分野の名称 Degree	博 士 (学術)	氏名 Author	DODAMPE GAMAGE GAYAN SRI DAYANATH
学位授与の要件	学位規則第 4 条第①・2 項該当		
論 文 題 目 Title of Dissertation	Essays of Aid Effectiveness in Developing Countries		
論文審査担当者 Dissertation Committee Member	主 査 Committee Chair 市橋 勝 (教授) 印 Seal		
審査委員 Committee	柿中 真 (教授)		
審査委員 Committee	後藤大策 (准教授)		
審査委員 Committee	高橋新吾 (准教授)		
審査委員 Committee	福田勝文 (中京大学国際学部・准教授)		
〔論文審査の要旨〕 Summary of Dissertation Review			
<p>本研究の目的は、開発援助のための融資や贈与が途上国の経済成長に有効であるのかどうかを、1) 世界の 3 大地域 (アジア、アフリカ、ラテンアメリカ) の中所得国について、2) スリランカ一国について分析することである。加えて、開発援助による具体的なプロジェクト (スリランカにおける高速道路建設) が、どの程度の経済効果を生み出したと考えられるのかを評価することである。</p> <p>論文は全 5 章で構成されている。第 1 章は序論で、本研究の目的、課題の設定及び背景説明が行われている。第 2 章は、ODA などの国際援助が本当に発展途上国の経済発展に貢献しているのかどうかを、媒介変数アプローチという手法を用いて 25 年間、30 カ国の途上国データで分析している。結果として開発援助は GDP 成長と負の相関となっていることが確認されている。第 3 章は、スリランカ政府の目的関数最大化問題として、開発援助がどのように資源配分されているのかを、実証的に検討している。結果として、開発援助は公的固定資本投資よりもむしろ社会福祉系サービスと正の関係を持っていることが示されている。第 4 章は、開発援助として行われた高速道路建設プロジェクトが、道路建設地域と未建設地域でどの程度経済発展の違いが生じているのかをスリランカ南部の省別・地区別データによって分析している。その結果、道路建設地域は、それを建設していない地域と比較して、約 1% 程度失業率を押し下げる効果を生んでいることが示された。第 5 章は各章での分析結果から得られた結果をまとめ、含意を述べている。</p> <p>なお、論文の第 2 章及び 4 章は以下の査読付き国際誌論文として発表または受理されている。</p> <p>以上を踏まえ、本審査委員会委員は、本論文が著者に博士 (学術) の学位を授与するに十分な価値があるものと認めた。</p> <p>【査読付き国際誌論文】</p> <ol style="list-style-type: none">1) Dodampe Gamage Gayan Sri Dayanath and Masaru Ichihashi, "Assessment of the Intended Outcomes of the Newly Built Expressway in Sri Lanka-", <i>The Journal of Applied Business and Economics</i> (ISSN# 1499-691X).2) Dodampe Gamage Gayan Sri Dayanath and Masaru Ichihashi, "Does foreign aid work well in developing countries? A mediating effect approach", <i>Journal of International Development and Cooperation</i>, Vol27, No2.			